

加曽利貝塚と新博物館をつなぐ ルート開発に関するワークショップ

第1回ワークショップ
10月29日（土）

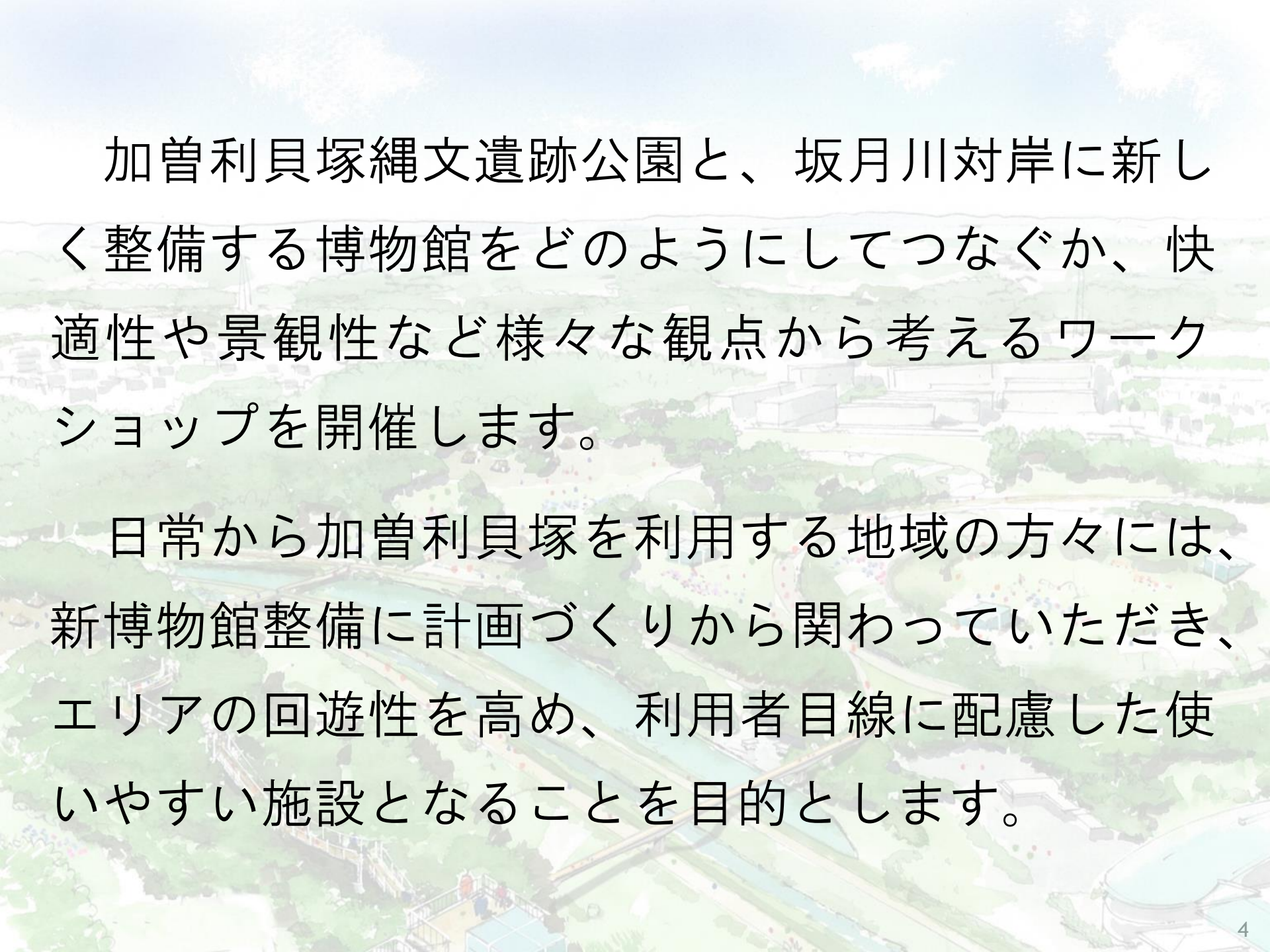


1. 開会



2. 挨拶





加曽利貝塚縄文遺跡公園と、坂月川対岸に新しく整備する博物館をどのようにしてつなぐか、快適性や景観性など様々な観点から考えるワークショップを開催します。

日常から加曽利貝塚を利用する地域の方々には、新博物館整備に計画づくりから関わっていただき、エリアの回遊性を高め、利用者目線に配慮した使いやすい施設となることを目的とします。

本日の議事次第

- 1. 開会
- 2. 挨拶
- 3. 自己紹介
- 4. ワークショップの開催目的および事業内容
- 5. ルート案の説明
- 6. グループワーク／ルート案の意見交換
- 7. まとめ
- 8. 次回ワークショップのご案内
- 9. 閉会

本日のテーマ

ルート案のご説明

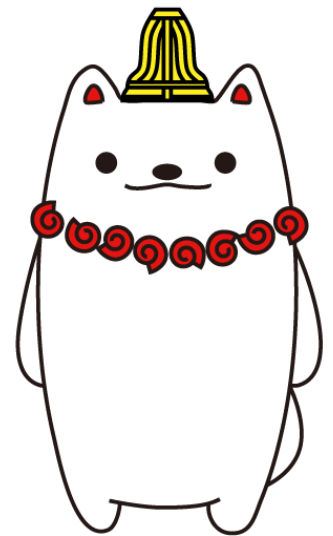


評価、思ったこと・意見・要望



ルート案 検討への反映

3. 自己紹介



4. ワークショップの開催目的 および事業内容



ワークショップの目的

①利用者ニーズを反映した利便性の高い計画を目指して (利用者の目線)

- ・ エリアの回遊性を高めるルート（連絡歩道橋）のあり方について、意見を伺い計画へ反映

②地域で愛され続ける加曽利貝塚を目指して (地域住民の目線)

- ・ 憩いの場として親しまれている坂月川と調和したルート（連絡歩道橋）のあり方について、意見を伺い計画に反映

■新博物館等 事業用地

下図の赤枠内（A～D、B～Dは民有地のため取得又は借地）を想定



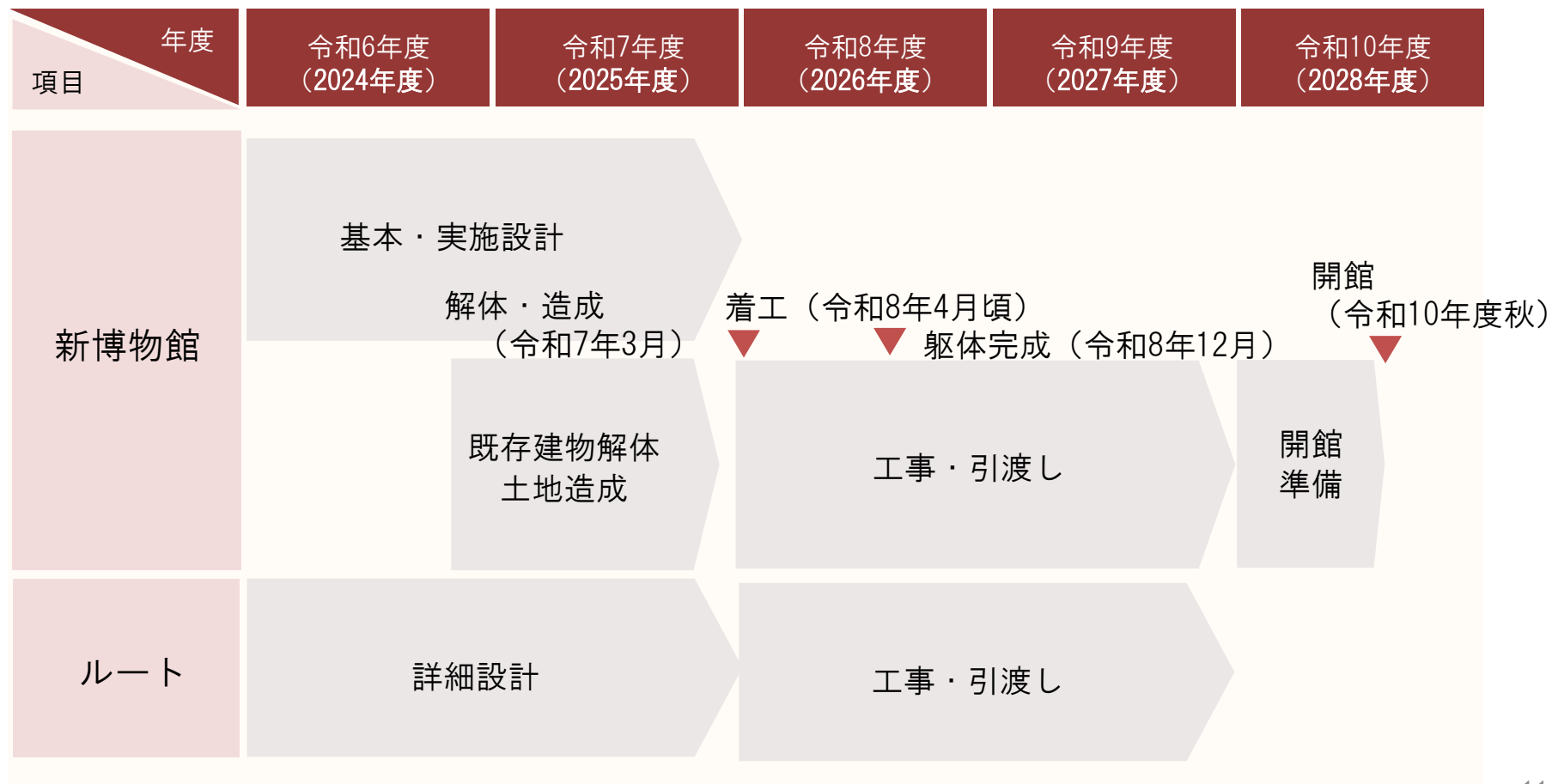
	整備内容	敷地面積 (m ²) ※	所有者
A	新博物館	約6,000	市
B	民間施設	約5,000	民有地
C	緑地（体験事業）	約4,500	民有地
D	駐車場	約4,500	民有地
合計		約20,000	

※概算値 実測結果により変動します

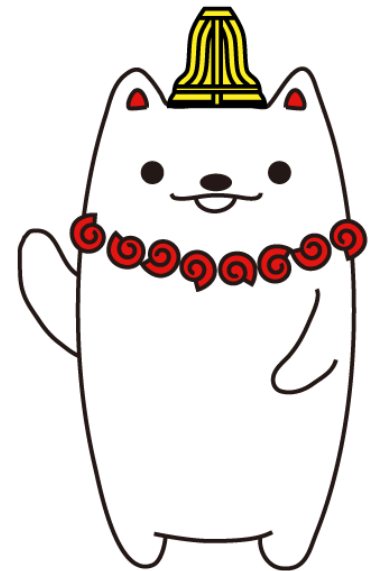
事業内容

事業スケジュール

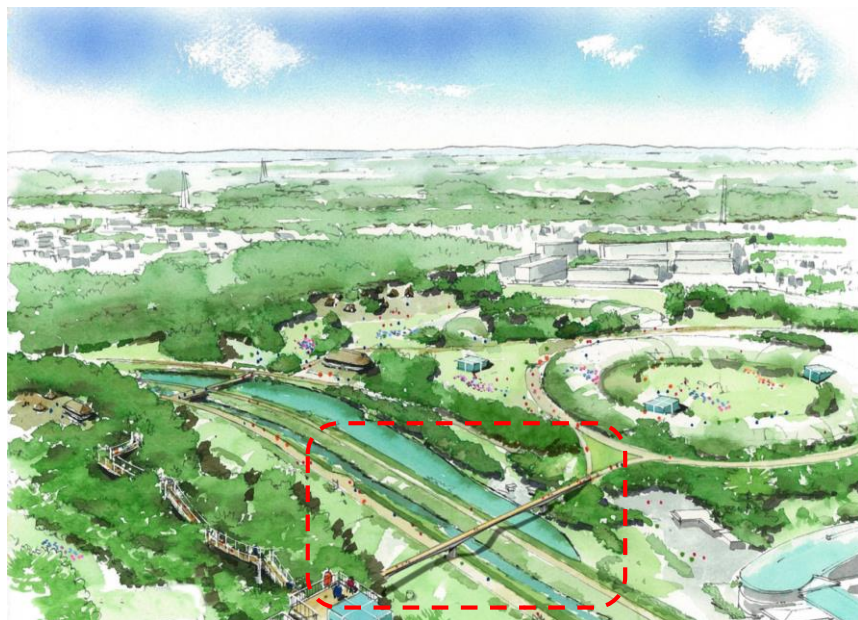
- ・ 令和6年度に設計に着手して令和8年4月頃に着工、令和10年度秋～に開館
- ・ 新博物館の開館に合わせ供用開始できるように、令和6～7年度に設計を行い、令和8～9年度に工事



5. ルート案の説明



- 新博物館から特別史跡加曽利貝塚まで、距離や高低差、坂月川があり、来訪者が快適かつ円滑に移動できる歩行空間として連絡歩道橋と周遊園路を整備し、エリアの回遊性を向上させることが望まれます。



グランドデザインでは
新博物館側から特別史跡
加曽利貝塚を結ぶ歩道橋
を提示しています。

グランドデザイン提示案は、下記の点で法令に適合しておらず、整備が困難であることが分かりました。

○文化財保護法：貝塚側の特別史跡範囲では、史跡に影響が出るような橋台の設置はNG

上記の制約条件を満たす、
関係法令に適合した歩道橋の検討が必要

小規模橋梁

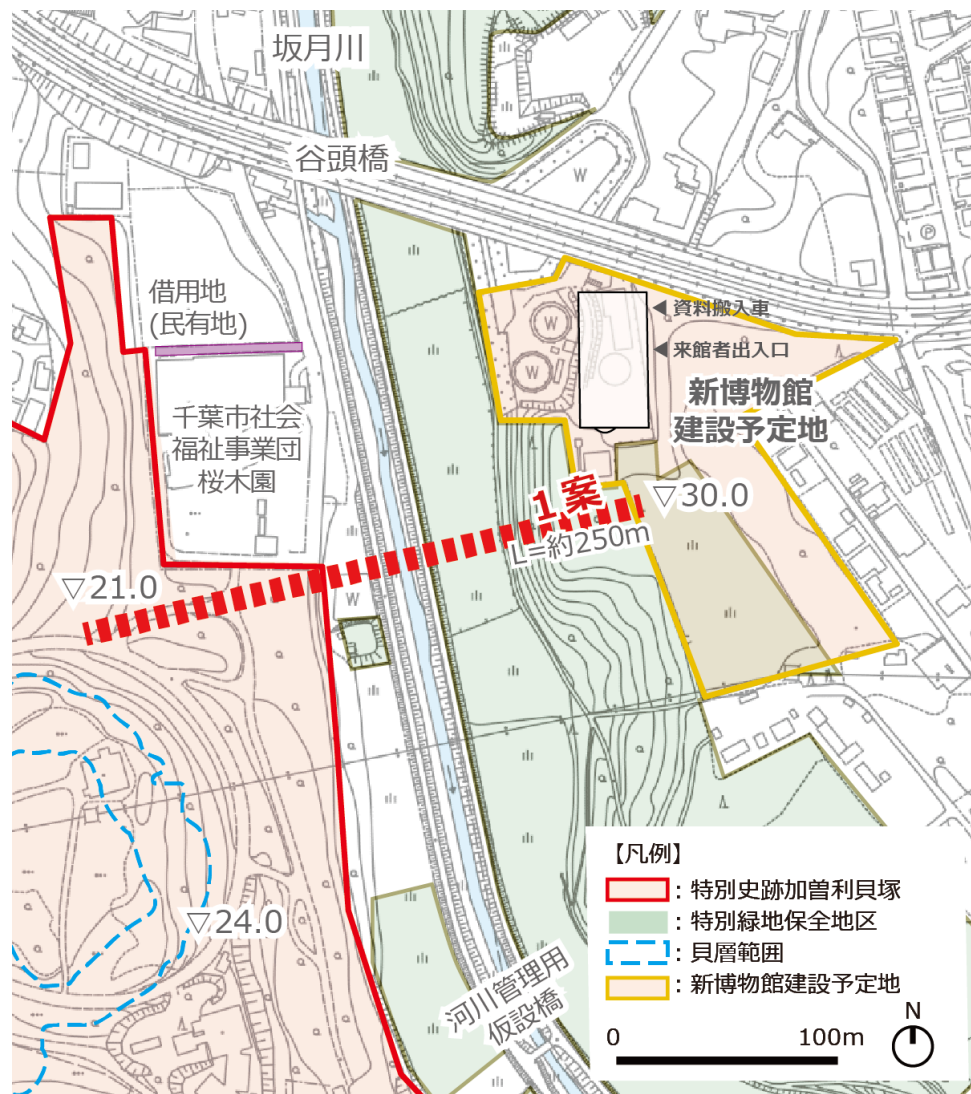
河川管理用通路を経由し、橋梁規模を縮小

ルート案について

計画概要

■グランドデザイン提示案

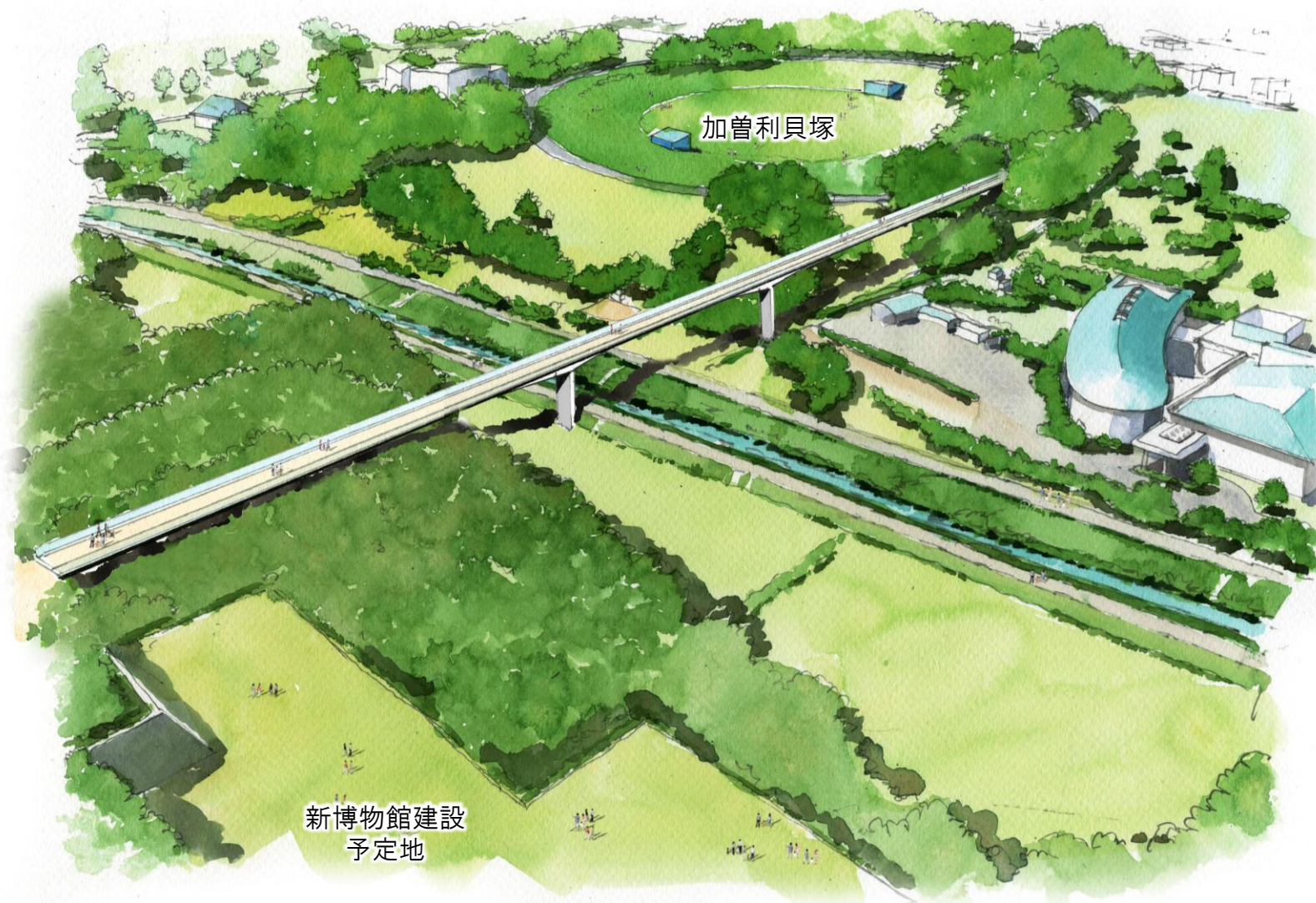
河岸段丘により張り出した位置（新博物館側）と
貝塚を結ぶ案



ルート案について

検討案概要

グランドデザイン提示案



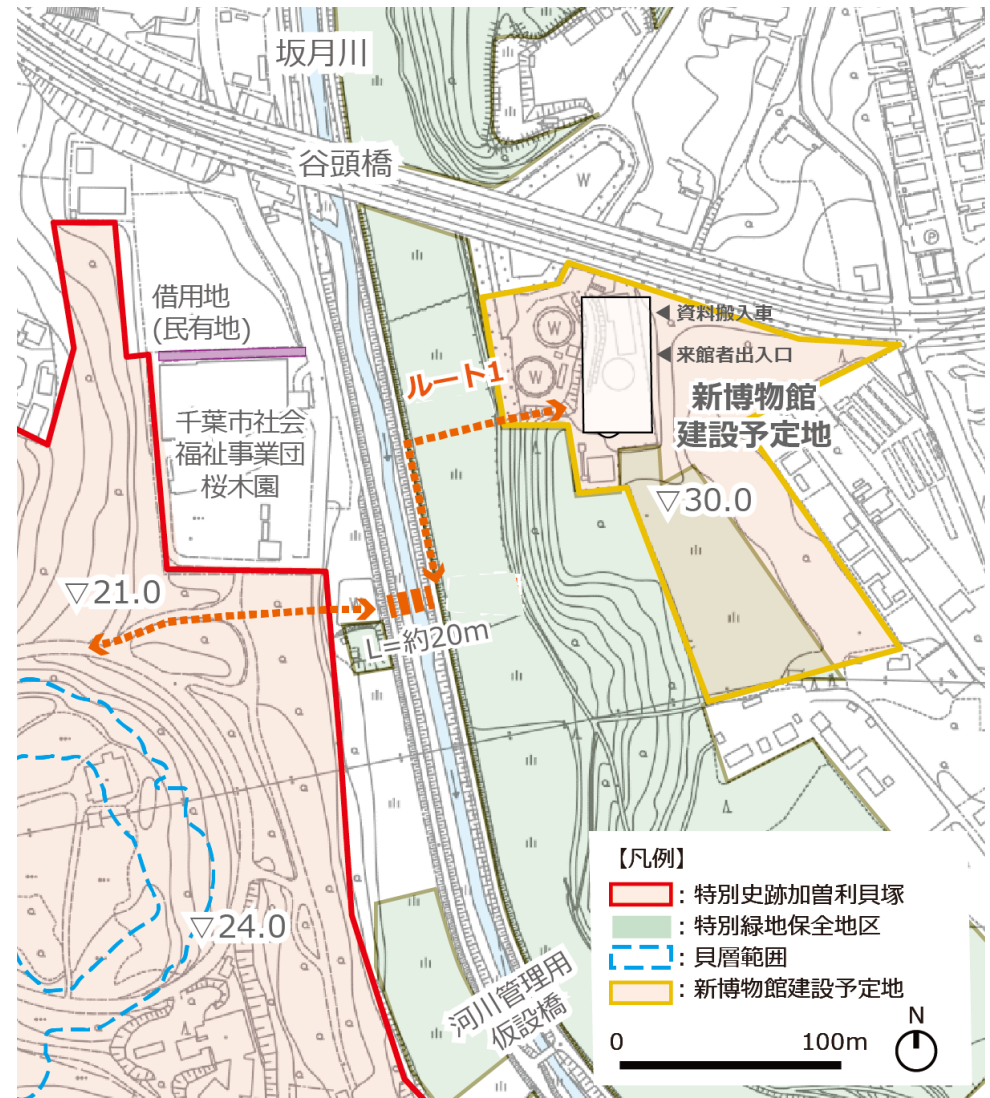
ルート案について

計画概要

■新規ルート検討案／小規模橋梁

周遊路から河川管理用
通路（散策路利用）を
経由し、両岸を結ぶ案

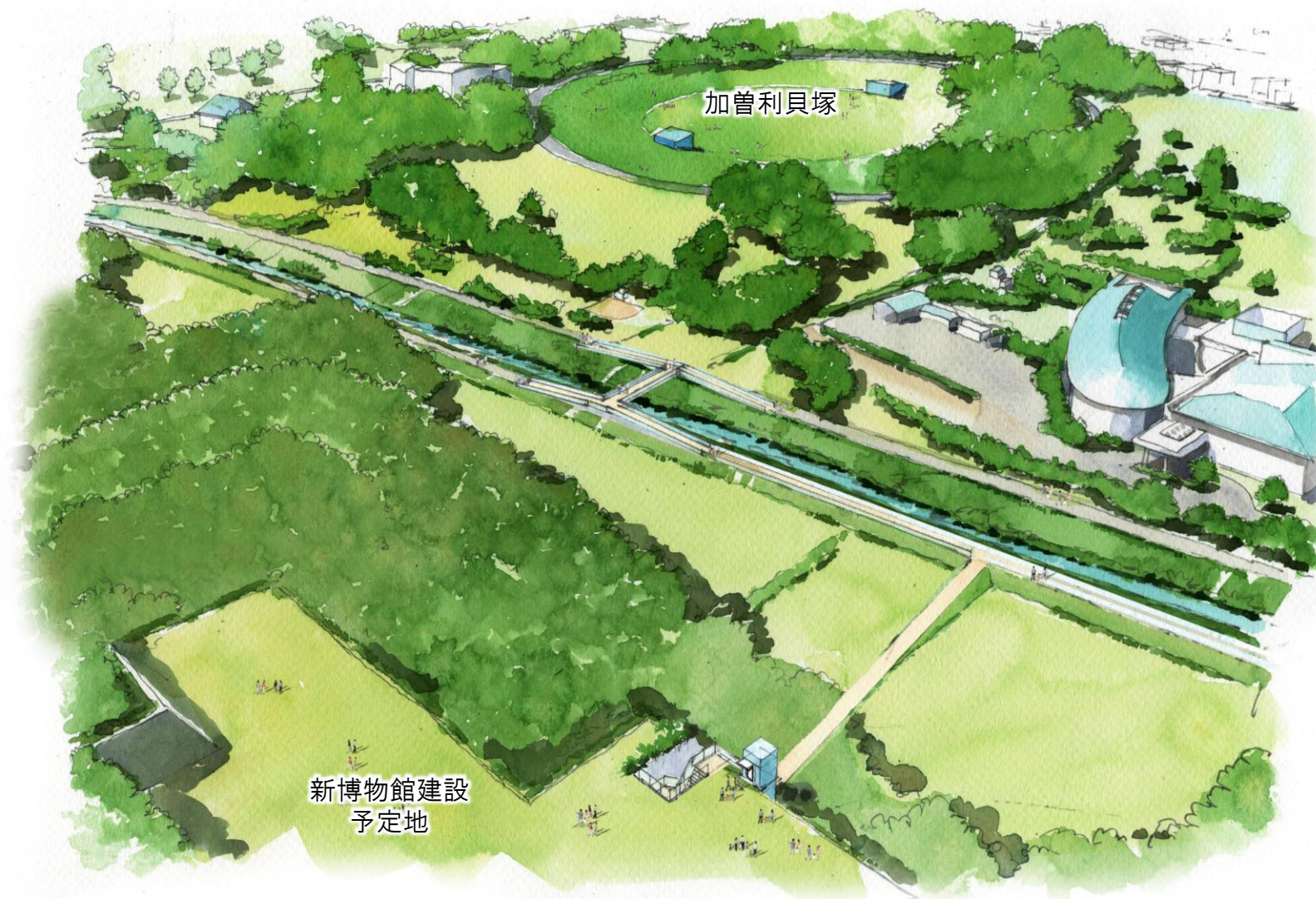
新博物館建設予定地付近
からエレベーター又は
階段を整備する



ルート案について

検討案概要

新規ルート検討案／小規模橋梁



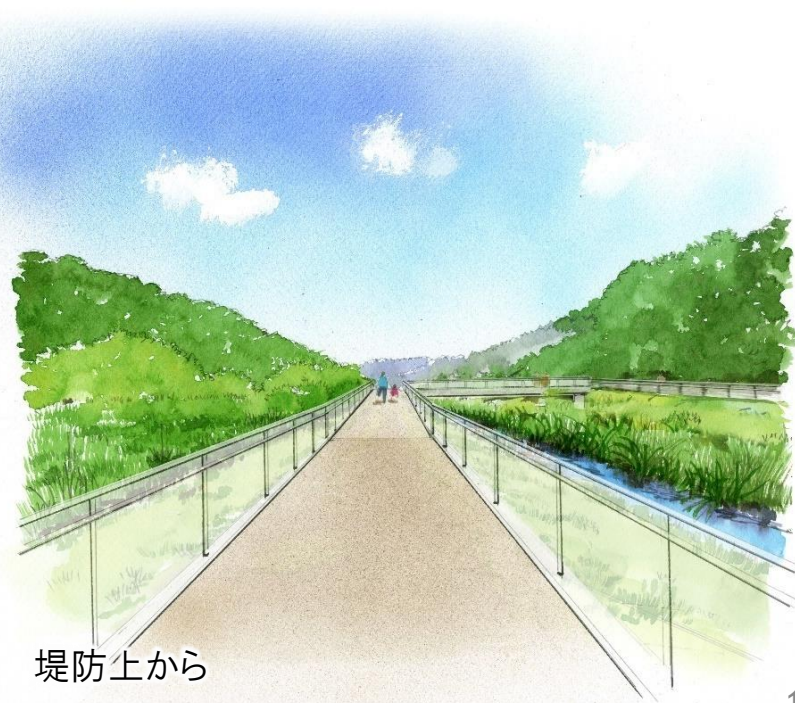
ルート案について

検討案概要

新規ルート検討案／小規模橋梁



新博物館敷地から



堤防上から

6. グループワーク (ルート案の意見交換)



グループワークのテーマ

ルート案のご説明



評価、思ったこと・意見・要望



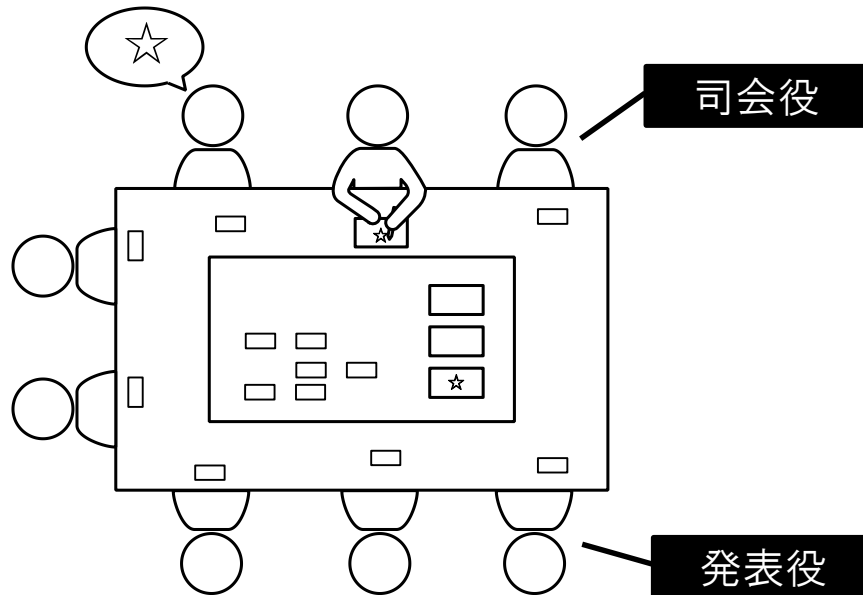
ルート案 検討への反映

グループワークの進め方

1. A・B・Cの3グループに分かれる
2. テーマについて、配布資料を見ながら語り合う

※司会役がタイムマネジメントと司会進行をします。

※司会役が意見をグルーピングしたり、付箋に補足を書いたり、紙面を整理していきます。

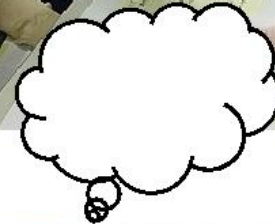


役割	やること	分担
司会役	進行 グループのメンバーに順番に意見を聞く。 時間管理を行う。	OC
発表役	代表して発表する。	参加者から選出

グループワークの進め方

1. 一人ひとりが付箋に書き出した意見をグループ内で発表し、模造紙に貼る。
↓
2. 模造紙を見ながら、意見の関係性を考える。
↓
3. 付箋をグルーピングしながら班としての意見をまとめる。

繰り返すと、似た意見や反対意見、相互関係にある「何か」が浮かび上がってきます。



グループワークの進め方



頭が混沌としたときには
糖分摂取も重要！



最終的には発表用のパネルとします。
参加者の中から発表役を決め、発表
して頂きます。

グループ会議の注意点

- ・ 多くの方が発言できるように、簡潔な発言を心がけましょう！
- ・ 他の人の発言を妨げないようにしましょう！
- ・ 制限時間を守りましょう！

グループワークのタイムテーブル

グループワーク

15 : 25～15:55

30分間

発表

15 : 55～16 : 10

15分間

7. まとめ



8. 次回ワークショップのご案内



次回の日程

第2回目ワークショップ（仮）令和5年1～2月を予定

新規ルートの設えに対する意見交換

→ 他施設の優良事例を参考に、この場所でできそうなことを検討する。

9. 閉会

